

## RS ウイルスワクチンの定期接種について

### 1. 接種の目的

新生児及び乳児における RS ウイルスを原因とする下気道疾患の予防のため

### 2. 対象者

妊娠 28 週0日から 36 週6日までの妊婦 ※令和8年度中の想定対象者約 920人

### 3. 使用するワクチン

組換え RS ウイルスワクチン(アブリスボ筋注用)

※妊婦の方が接種することで、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができる母子免疫ワクチン

### 4. 実施開始

令和8年4月1日より

### 5. 費用

自己負担なし

### 6. 接種場所

国分寺市内の実施医療機関

※10 市(立川市、昭島市、小金井市、小平市、東村山市、国立市、狛江市、東大和市、清瀬市、武蔵村山市)との相互乗り入れを予定

※上記以外での接種を希望の方は、国分寺市指定外医療機関予防接種費用助成制度を活用可能

### 7. 実施方法

市報・ホームページ等で周知を行う。

妊娠届提出の際に妊婦にお渡しする「母と子の保健バッグ」に、RS ウイルス感染症予防接種の説明書、予診票及び厚生労働省リーフレット等を同封する。令和8年度当初に接種時期が到来する妊婦については、個別に説明書、予診票及び厚生労働省リーフレット等を送付する。対象者は、直接実施医療機関を受診し、接種を受ける。

### 8. 令和8年度補正予算の概要

	金額	内容
歳出	27,953 千円	<b>【予防接種に要する経費】</b> ・RS ウイルス予防接種委託料 ・定期予防接種費助成金 ・郵送料

※財源は、地方交付税措置されるが、当市は普通交付税不交付団体のため、全て一般財源